



ウォーキング・リゾートとして、  
東郷湖の魅力の世界に発信していく。

近代的日本地図の基礎を築いた偉人と言えば、伊能忠敬。日本ウォーキング協会が、彼が測量のため歩いた道を2年かけて巡るといふ企画を立てた。この「伊能図巡り」に中心になって協力したひとりが、遠藤公章さん。本業は、土地家屋調査士だ。

「もともと歩くことが好きで、しかも測量の大先輩の名を冠したイベントとなれば」と、運営のサポートを買って出た。続いて、地元のウォーキング大会も企画。やがて全国からの参加者を得て、世界のウォーキング協会や普及に努める人々ともつながっていく。

「彼らから、東郷湖周辺は世界トップクラスのウォーキング好適地だと言われたんです。いつもの散歩コースが、急に出世したようで」

コンパクトなところに海・湖・川・山、そして温泉のすべてがそろっていると称えられ、やがてここに、日本初のノルディックウォークの公認コースが生まれた。

となれば、東郷湖をウォーキングのメッカにする情報発信基地が必要と、『Café i ppo』を作る。日本初のウォーキング・カフェとして、全国から愛好者が集う拠点となった。休日は「漁師見習い」として、21フィートの愛船で海へ。陸からそして海から町を眺めることで、故郷の魅力を再認識する。

「他所から歩きに来てくれた人たちから『ほんとにいいところですねえ』と言われるのがまた、うれしいんです」

土地家屋調査士・Café i ppoオーナー

遠藤公章

ゆ  
う  
ゆ  
う、  
ゆ  
り  
は  
り  
ま

